



**IIXIL**

縦すべり出し窓  
オペレーター仕様

# 小開口アーム(固定タイプ)

取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲注意

- 部品の脱落、開閉不良、作動不良の防止のため、下記事項をお守りください。
  - ・アーム取付けねじは $2.0 \pm 0.5 \text{N} \cdot \text{m}$  ( $20 \pm 5 \text{kgf} \cdot \text{cm}$ )のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
  - ・連動バーの取付け後は、必ず外れ止めピースを取付けてください。

## ■取付け上のお願

- アームの回転防止テープは取付直前まで剥がさないでください。アーム故障の原因になるおそれがあります。
- アームを室内側に傾けて固定しないでください。開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。
- アーム受けは、サッシを躯体に施工した後に、建付け、開閉、施解錠の調整をしてから取付けてください。アーム受けを取付けた後は、サッシの建付けや開閉作動性の調整が出来なくなります。  
手順：サッシの取付け施工→サッシの調整→アーム受けの取付け
- アーム受け部品袋は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■部品・ねじ一覧表

㊦	㊧	㊨	㊩	㊰		
アーム	アーム取付けねじ	連動バー	アーム、 連動バー 取付け説明書 (本書)	アーム受け 部品袋		
				㊱	㊲	㊳
	トラス小ねじ			アーム受け	アーム受け取付けねじ	アーム受け取付け説明書
					皿小ねじ 緩み止め付き	

## ■取付け手順の流れ

1.アームの取付け → 2.スライドバーの交換 → 3.サッシを躯体に施工した後に建付け、開閉、施解錠の調整をしてください。 → 4.アーム受けの取付け

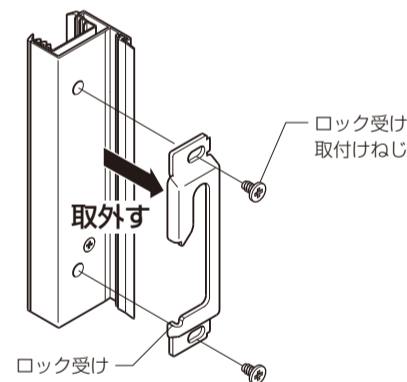
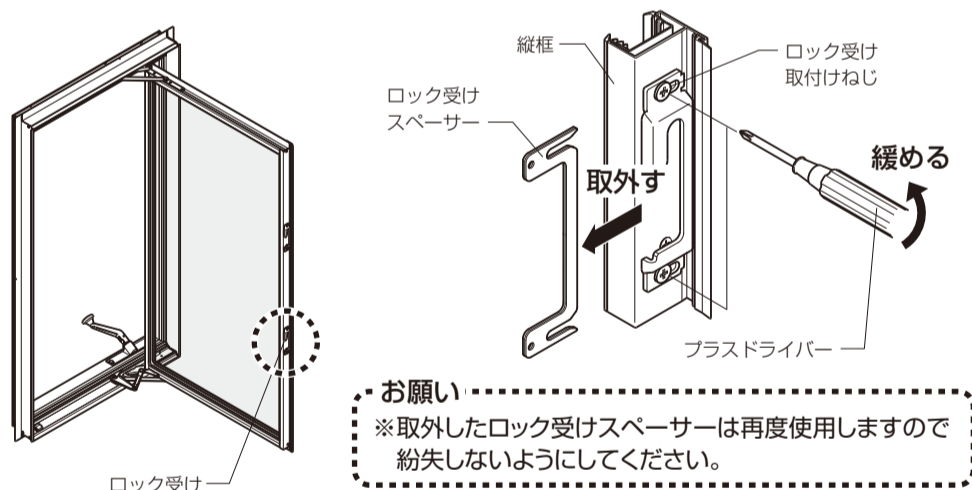
※アーム受けは、サッシを躯体に施工した後に建付け、開閉、施解錠の調整をした後に取付けてください。

## ■取付け順序

**1 ロック受けの取外し** ※ロック受けが2個ある場合は、下側を取外します。

- ①縦框下部側のロック受けのロック受け取付けねじを緩めロック受けスペーサーを取外してください。
- ※サッシ出荷時はロック受けスペーサーが2枚取付けされていますが、施工済の現場によっては1枚もしくはついていない場合もあります。
- ※ねじを緩めすぎるとねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

②ねじを取外し、ロック受けを取外してください。

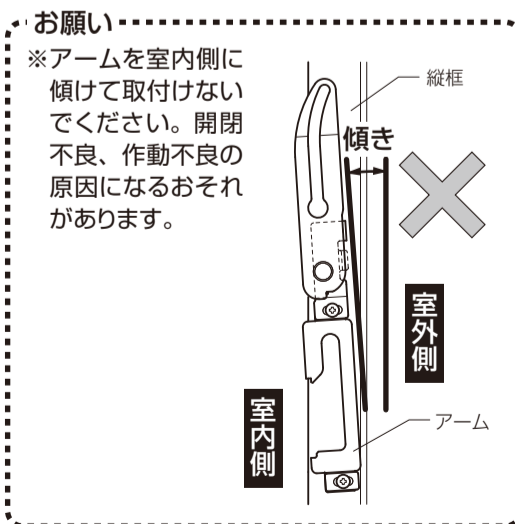
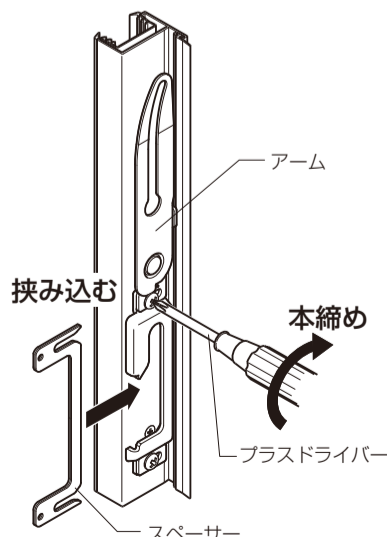
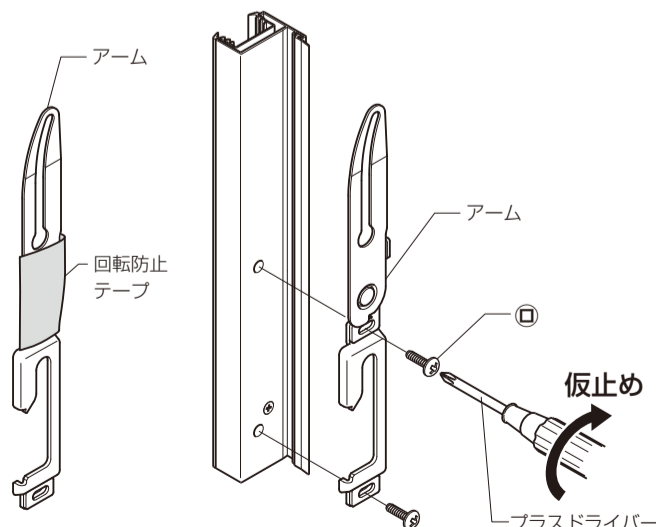


**お願い**  
※取外したロック受けスペーサーは再度使用しますので紛失しないようにしてください。

## 2 アームの取付け

①アームの回転防止テープを剥がし、㊧トラス小ねじで仮止めして取付けてください。

②ロック受けを外した時に取外したロック受けスペーサーを挟み込み、ねじを本締めしてください。最後に増締めしてください。



**お願い**  
※アームを室内側に傾けて取付けしないでください。開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。

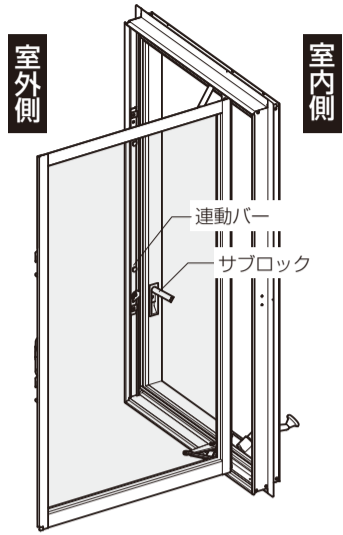
## ▲注意

- ねじは $2.0 \pm 0.5 \text{N} \cdot \text{m}$  ( $20 \pm 5 \text{kgf} \cdot \text{cm}$ )のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。部品の脱落、開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。

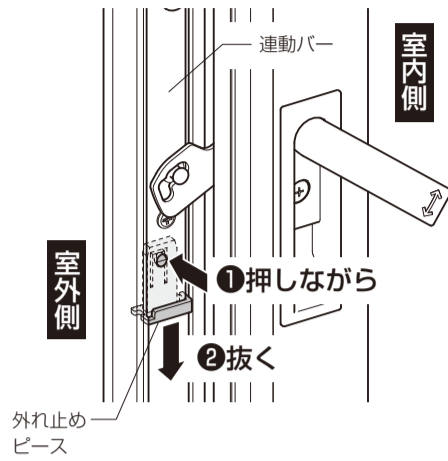
### 3 連動バーの取外し

※連動バーは、HサイズによりAタイプとBタイプがあります。

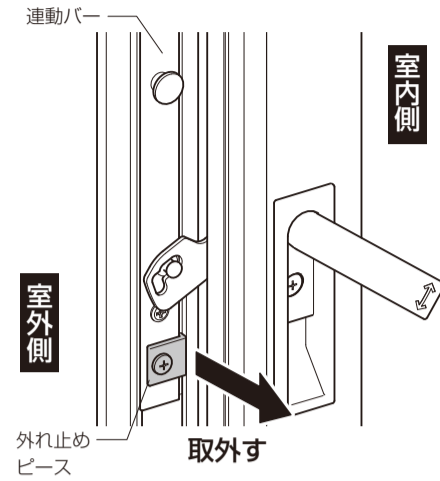
①連動バー上下2箇所の外れ止めピースを取外します。



#### <Aタイプ>

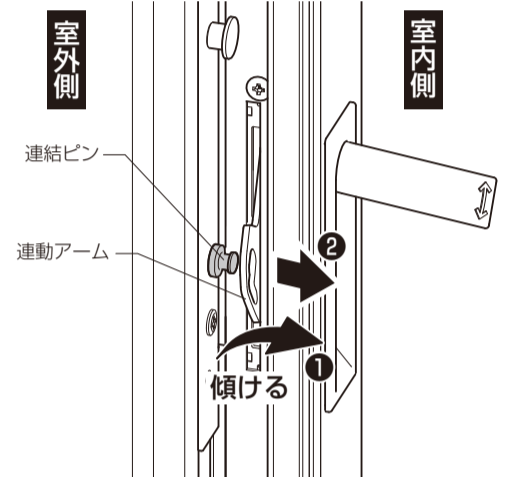
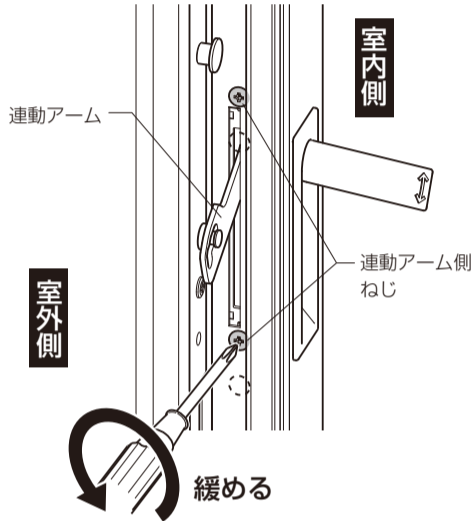
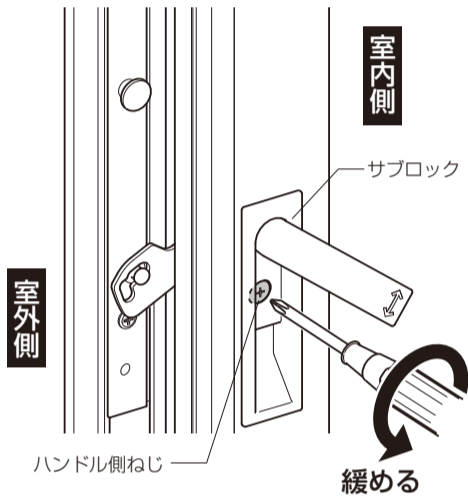


#### <Bタイプ>



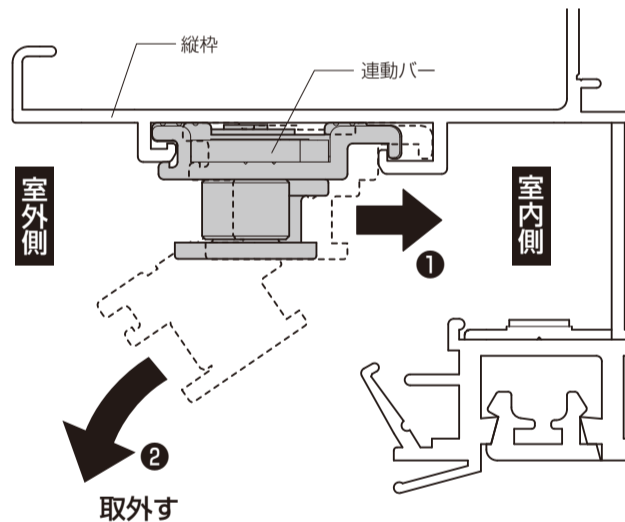
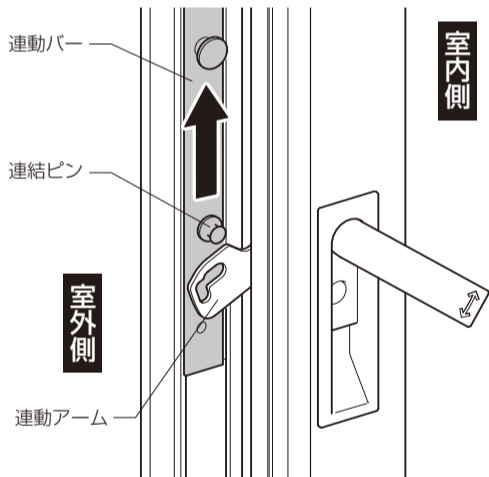
②サブロックのハンドル側1箇所、連動アーム側のねじ2箇所を緩めてください。  
(ねじを緩めることによりサブロックの連動アームを左右に傾けることができ、連動バーが外れやすくなります。)

③サブロックの連動アームを傾けて連動バーの連結ピンから外します。



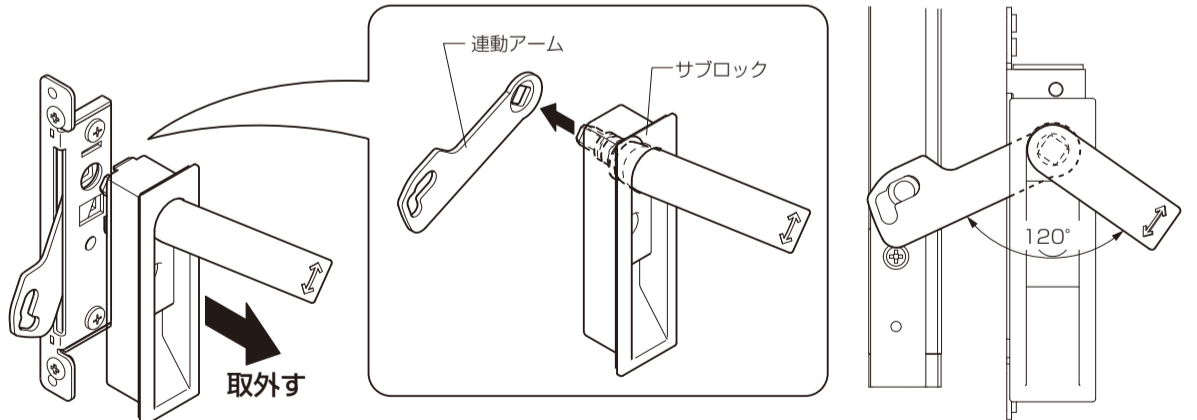
④連動バーを上にはずらし、連動バーの連結ピンが連動アームより上になるようにします。

⑤連動バーを室内側に寄せてから傾けて縦枠から取外します。



#### ■縦枠から連動バーが外れにくい場合

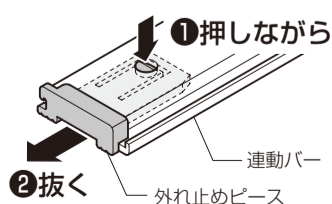
- ①サブロックのハンドル側ねじを完全に取外し、サブロックを取外してから外してください。
- ②サブロックをもとに戻す時はハンドルと連動アームを右図の位置(組込み角度)で取付けてください。  
※組込み角度を間違えるとハンドルが収納できません。



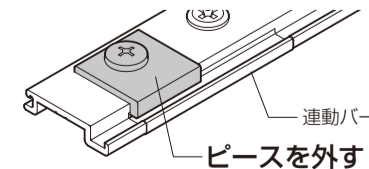
### 4 連動バーの取付け

- ・縦枠に小開口アーム用の連動バーを「3 連動バーの取外し」と逆の手順で取付けます。
- ・連動バーの上下2箇所の外れ止めピースを一度取外してから作業してください。

#### <Aタイプ>



#### <Bタイプ>



#### ▲注意

●連動バーの取付け後は、必ず外れ止めピースを取付けてください。部品の脱落、開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。